

400ccまでの「ミドルクラス」をとことん楽しむ!

U4クラスの人気者!

フルカウル スポーツ事情

最新

Under
400

2021.2
No.86

定価 790円



注目のニューモデルをもっと楽しく!

NINJA ZX-25R
カスタムのススメ

伝説の1台をフィーチャー

ミドル史に名を刻む名車たち

HONDA **MONKEY R**

ニューモデル続々!

U4クラスのニューカマーたち

NeU4!

短期集中連載

舞台裏からレースの魅力に迫る

サニーモトプランニングの挑戦

真夏のエンデューロレースに挑む

Road to the 8hour Endurance Race



HONDA CRF250L | CRF250RALLY | CBR250RR
PCX160 | PCX | MONKEY R | YAMAHA YZF-R25 |
YZ250FX | SEROW250 | SUZUKI GIXXER
SF250 | GSX250R | KAWASAKI NINJA400 |
NINJA ZX-25R | BENELLI TNT249S | TRK251 |
BETA X-TRAINER250 | GASGAS TXT RACING300

今月号登場車両

新旧・排気量を問わず、さまざまな車両に対してパーツをリリースしているストライカー。その主力商品はなんといってもマフラーだ。ストリートリーガルを守りつつ、軽量かつ、より走るのが楽しくなる出力特性を追求して開発され、多くのカスタム派ライダーの支持を集めている。

新しく登場したニンジャZX-25Rが登場し、開発をすることがで悩んだという。純正マフラーの構造上スリップオンは作れず、フルエキゾーストになる。当然価格はスリップオンよりも高くなり、車体価格も考慮に入れるとはたして売れるのだろうか?と悩んだ。しかしニンジャZX-25Rを購入、もしくは購入を検討しているユーザーに話を聞くと、「いいモノなら欲しい!」という声が多く、開発に踏み切ったという。

開発するにあたって、もともとこだわったのは低中回転域の扱いやすさだ。2500cc並列4気筒は並列2気筒より低回転域のトルクが細い。そこに扱いづらさを感じるライダーも少なくない。そこをしっかりとカバーしつつ、ワインディングで高回転域まで気持ちよく伸びる特性をねらったのだ。加えて重量面でも並列2気筒よりも重くなる並列4気筒であることも加味し

たという。

その結果が、素材にフルチタンをチョイス。ステンレスよりも価格は上がるが、より軽さを求めている採用。集合方式は低中回転域のトルクが有利になる4・2・1とし、高回転域の伸びなども考慮してエキゾーストパイプをコニカルヘッドとし、さらに1番と2番、3番と4番を接続するパイプも加えた。サイレンサーはスタイルも考慮した異形断面をチョイス。

撮影するにあたって、自走で撮影ポイントまで移動、車体を起こすときにフルチタンになったことの軽さを体感。スポーツ派ライダーでなくとも、この恩恵は十分プラスになる要素。加えて低回転域のトルクが太くなり、ノーマルマフラーと比べて発進に気をつかう必要がないのはありがたい。また街乗りではノーマルマフラーだと1万rpmくらいをキープしたいところだが、この車両は8000rpmも回せば十分。もちろんアクセルを全開にして高回転まで回せば、スムーズに吹け上がり、鋭い加速を味わえた。

ニンジャZX-25Rでスポーツライディングを楽しむだけでなく、街乗りやツーリングメインのオーナーにも注目してほしい1本だ。もって走りたくなるぞ!



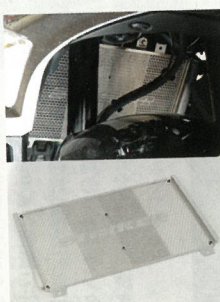
④サイレンサーはシャープなスタイルのニンジャZX-25Rに合わせた、異形断面のインターモデルオフタイプになる。カーボンエンドは共通だが、写真のチタンヒートカラーに加え、素材の質感を活かしたソリッドチタンと、セラコートでブラックアウトされたチタンCKブラックから選択可能



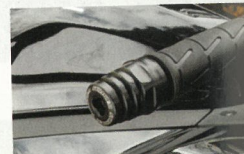
⑤カウルで見えないが、エキゾーストパイプにも焼き色が入る。チタンコニカルテーパーパイプにパイプが加えられ、集合方式は4・2・1。価格は22万1000円



⑥万一転倒した際、極力車体がダメージを受けないようにする各種スライダー類が装着されている。ガードスライダーは標準仕様(写真)・オールブラック仕様・カーボンコンポジット仕様から選択可能(1万4,300~2万7,500円)。アックススライダーフロントは1万780円で、リヤはベースがブラック・シルバーから選択でき、価格は7,150~7,700円になる



⑦走行中、フロントタイヤが巻き上げる小石や、飛来する物体でラジエターが破損することも、そのリスクを低減させるためのラジエターガードだ。センターとサイドで、目の細かさが違い、STRIKERのロゴが入る。1万7600円



⑧スリットが入り、端部に「STRIKER」のロゴが入るバーエンド。ベースウエイトがステンレスで、エンドキャップがジュラルコンになる。ニンジャZX-25R専用用品ではなく汎用品。価格は左右セットで6,050円

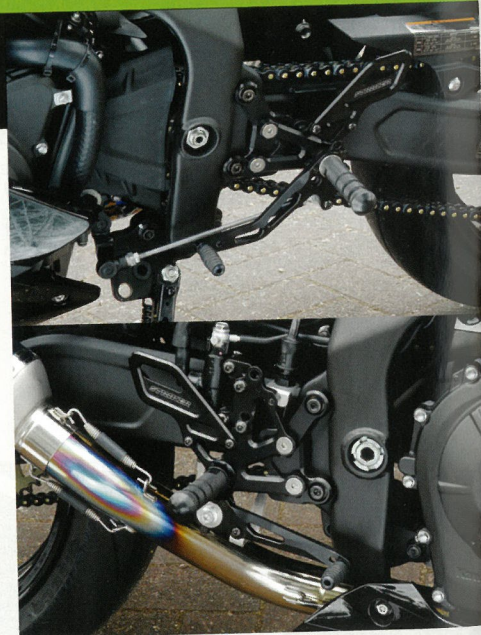
THE PRODUCT

make the NINJA ZX-25R more fun

STRIKER

☎カラーズインターナショナル
☎045-949-1345
🌐http://www.striker.co.jp

走るのがもっと楽しくなる
こだわりのフルエキゾースト



⑨ストライカーの主力商品のひとつであるステップキットも当然ニンジャZX-25R用が用意される。純正オプションクイックシフター・STDシフターなしに対応。4ポジションのマルチポジションタイプだ。別売りのパーツで逆シフトにも対応。基本はブラックだが、プラス1万3,200円でカラーオーダーすることができる。2月下旬から3月中旬にリリース予定で、価格は6万500円

※価格はすべて税10%込